

# 美術研究所報

## 東京国立文化財研究所美術部公開学術講座の開催

日本経済新聞社九階小ホールにおいて公開学術講座を左の通り行った。

昭和四十四年十二月三日

藤原仏画の展開

柳沢 孝

明治の彫塑

中村伝三郎

昭和四十五年十月三十一日

仏伝画の系譜

上野 アキ

説話絵巻の展開

宮 次男

## 美術部研究員海外出張

田実栄子は昭和四十五年四月二十四日より五月十一日まで、北欧諸国の博物館所蔵染織工芸品の調査研究のため、デンマーク、フィンランド、スエーデン、連合王国、フランス、イタリアへ出張した。

川上涇および戸田禎佑は昭和四十五年六月十七日より同三十日まで、中華民国国立故宫博物院主催国際シンポジウム「中国古画討論会」出席ならびに同院所蔵中国画の調査研究のため、中華民国へ出張した。

岡畏三郎は昭和四十五年十一月十四日より四十六年二月十三日まで、文部省海外研究員として、ヨーロッパ各国の美術館において、日本近代美術に及ぼせる十九世紀ヨーロッパ美術の調査研究のため、デンマーク、ノールウェー、スエーデン、オランダ、連合王国、フランス、スペイン、ドイツ、スイス、イタリア、ギリシャへ出張した。

坂本満は昭和四十六年二月十五日から四十七年二月十四日まで、フランス国立図書館版画部における版画史研究および、版画を媒体とした東西美術交流史の実証的研究のため、フランス、イタリア、連合王国、ポルトガル、スペイン

へ出張した。

## 美術部所員異動

辻惟雄は昭和四十六年五月一日、東北大学文学部助教授に転任した。

戸田禎佑は昭和四十六年六月十六日、東京大学東洋文化研究所講師に転任した。

## 「日本美術年鑑」の刊行

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」昭和四十五年版（昭和四十四年一月から十二月の間の記事）は昭和四十六年三月三十日に刊行された。

## 研究会

昭和四十五年	二月二十五日	敦煌本仏伝図について	上野 アキ
	四月八日	明末絵画の諸傾向	戸田 禎佑
	四月二十二日	箱根本地仏懸仏について	久野 健
	六月三日	スペイン美術展について	坂本 満
	六月十日	久保家蔵伊勢物語絵巻の絵解き	田村 悦子
	九月九日	元末人物画と禅余画家	戸田 禎佑
	九月三十日	古九谷の諸問題	中川 千咲
	十月二十八日	石山寺本尊像について	猪川 和子
	十二月二十三日	大仏頂曼荼羅について	柳沢 孝
昭和四十六年	一月二十七日	江戸時代絵画における洋風モチーフの源泉	坂本 満
	二月三日	伝牧溪筆雨中芙蓉図をめぐる二三の問題	戸田 禎佑